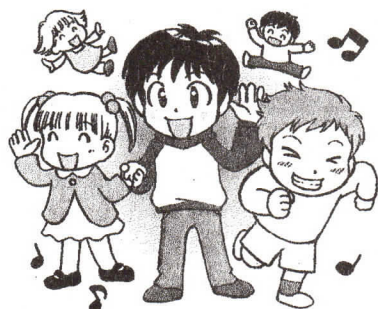




令和元年11月1日

練馬区立大泉学園小学校



11月の保健行事

11月8日は、立冬です。暦の上では冬の始まりです。気温差が激しいせいもあってか、風邪をひいて保健室に来室する人がグッと増えてきました。

今月末は、音楽会があります。ステキな歌声を響かすことができるように『手洗い・うがい』を心掛けて、元気に過ごしましょう。

12日(火)

下田移動教室事前検診(6年生)

移動教室用健康カードを忘れずに。

10月に学園小で発生した感染症

・水痘(水ぼうそう)…1人

★★★インフルエンザ予防接種について★★★

昨年度、学園小では冬休み明けから一気に感染が広がり、134人の児童がインフルエンザに感染しました。(全校の約35%、およそ3~4人に1人)

各医療機関では、インフルエンザ予防接種が始まっています。12歳までは、免疫効果をあげるために、2~4週間の間隔を空けて2回接種をするのが一般的です。

予防接種には、インフルエンザの発病と、かかった場合に重症化を防ぐための効果があります。

ワクチンの効果が期待できるのは接種後2週間くらいから3~6ヶ月の間とされています。全国的にインフルエンザの流行する時期は、通常12月~翌3月頃ですので、接種を予定している場合は、12月中旬までに接種を終えるように計画されることをお勧めします。

インフルエンザの予防接種のワクチン株は、その冬に流行するインフルエンザウイルスの種類を予測して、毎年変わっています。

*2019/2020シーズン インフルエンザワクチン株

A型(プリズベン) / 02/2018 (H1N1) pdm09

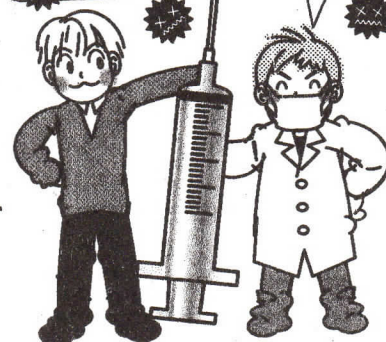
A型(カンザス) / 14/2017 (X-327) (H3N2)

B型(プーケット) / 3073/2013 (山形系統)

B型(メリーランド) / 15/2016 (ビクトリア系統)



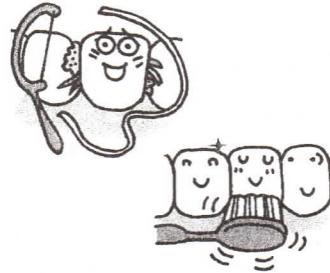
インフルエンザ流行する前に
予防接種を



秋の歯科検診の結果より

10/26に、秋の歯科検診を行い、『むし歯の有無』と、『歯みがき・歯肉の状態』を学校歯科医の南先生が診ていただきました。検診の結果、高学年中心に歯肉炎になっている児童が目立ち、6年生では35%、3～4人に1人が歯肉炎という結果でした。

軽い歯肉炎の場合、歯をきちんとみがいて歯垢を落とすことを続けると、3日～1週間ほどで健康な歯肉（はぐき）に戻すことができます。また、デンタルフロスを使って歯と歯の間の歯垢をとるとより効果的です。特に夜寝ている間は、唾液の量が減るため、むし歯や歯肉炎が進行しやすいとされていますので、夜の歯みがきは特にていねいに行うようにしましょう。



学校でおう吐があった場合の対応について

これから増えてくるノロウイルスなどの感染性胃腸炎にかかった人のおう吐物や糞便には大量のウイルスが存在します。



学校でおう吐し、室内の床などが汚れてしまった場合は、練馬区教育委員会のマニュアルに沿って、消毒をして集団感染がおこらないようにしています。

尚、おう吐物で汚れてしまった衣類などを学校の流しで洗うと、流しや蛇口がウイルスで汚染され、感染を広げる心配があるため、ビニール袋に入れて密閉して、そのままご家庭にお返ししております。例年、お願いしていることですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(*ご家庭での処理の方法については、その都度お知らせいたします。)



上ばきをきちんとはきましょう！

かかとを踏んで上ばきをはいている人を見かけて、よく声をかけます。ふだんの学校生活はもちろん、火災や災害などおきていざ避難するときにも危険です。また、「服装の乱れは心の乱れ」とも言われます。

上ばきは、かかとを踏まずにきちんとはくようにしましょう。

【保護者の皆様へ】

上ばきは、週末に家庭に持ち帰り、洗ってくることになっています。その際に、サイズがキツくなっていないかや名前が薄くなっていないかのチェックもお願いいたします。

